

平成30年7月20日

保護者の皆様

杉並区立宮前中学校
校長 渡邊 裕子

熱中症予防の取組及び生徒の安全の確保について 重要

盛夏の候、保護者の皆様には益々ご健勝のことと思います。日頃より本校の教育活動についてご理解ご協力いただきありがとうございます。

さて、連日熱中症での救急搬送等のニュースが流れております。7月19日には東京都教育委員会からも、「熱中症事故の防止について」の通知文が届き、全教員へ周知したところです。

つきましては、宮前中学校では熱中症の防止及び生徒の安全の確保について下記のとおり設定するとともに、生徒の状況を常に把握しながら部活動を実施してまいります。ご家庭でも天気予報等をこまめにチェックしていただき、子どもの安全を第一に考えてご対応いただきたく、よろしくお願いいたします。

記

- 1 **運動部活動の中止 活動場所の乾球温度（外気温）が35℃以上、又は「WBGT」31℃以上皮膚温より気温の方が高い状態となり、体から熱を逃がすことができない状態**
 - ・学校に登校している状況であっても、活動場所の乾球温度（外気温）が35℃以上、又はWBGT 31℃以上の場合は、空調のきいた教室等で待機し、運動は実施しない。
 - ・乾球温度（外気温）が35℃又はWBGT 31℃を下回った場合は、その時点から運動を開始する。その際も細まめに休息をはさみ、水分補給を心掛ける。

※ 空調の効いた場所での活動、乾球温度（外気温）が35℃以下、又はWBGT 31℃以下の場合は活動可とする。

- 2 **暑さ指数（WBGT（湿球黒球温度）：Wet Bulb Globe Temperature）とは**

暑さ指数（WBGT（湿球黒球温度）：Wet Bulb Globe Temperature）は、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度（℃）で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数（WBGT）は人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい ①湿度、 ②日射・輻射（ふくしゃ）など周辺の熱環境、 ③気温の3つを取り入れた指標です。

暑さ指数（WBGT）は労働環境や運動環境の指針として有効であると認められ、ISO等で国際的に規格化されています。（公財）日本体育協会では「熱中症予防運動指針」、日本生気象学会では「日常生活に関する指針」公表しています。

- 3 **判断方法**
 - ※ 「体育・スポーツ活動中の熱中症予防マニュアル」熱中症予防運動指針による
 - （1）環境省 熱中症予防情報サイト（http://www.wbgt.env.go.jp/wbgt_data.php）
 - （2）天気予報各社の杉並区の温度等
 - （3）校庭及び体育館に設置した温度計の計測値
 - （4）気象庁 高温注意情報の発令の有無 を参考に、管理職が判断します。
 - ※ 大会（練習試合含む）等で、学校外で活動を行っている場合は、大会の主催者の指示に従い、各顧問が判断します。

- 4 **その他**

部活動実施中は常に1階北会議室に冷房を入れ、生徒の休息、避難場所として確保いたします。以上、ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。